

温水ルームヒーター

取扱説明書

(保証書付)

製品名

RH-5604RNA-WH-BL

RH-5604RNA-PG-BL

RH-5604RNA-KO-BL

RH-3804RNA-WH-BL

RH-3804RNA-PG-BL

RH-3804RNA-KO-BL

ガス会社品名

FH-5618AME-RT(WH)

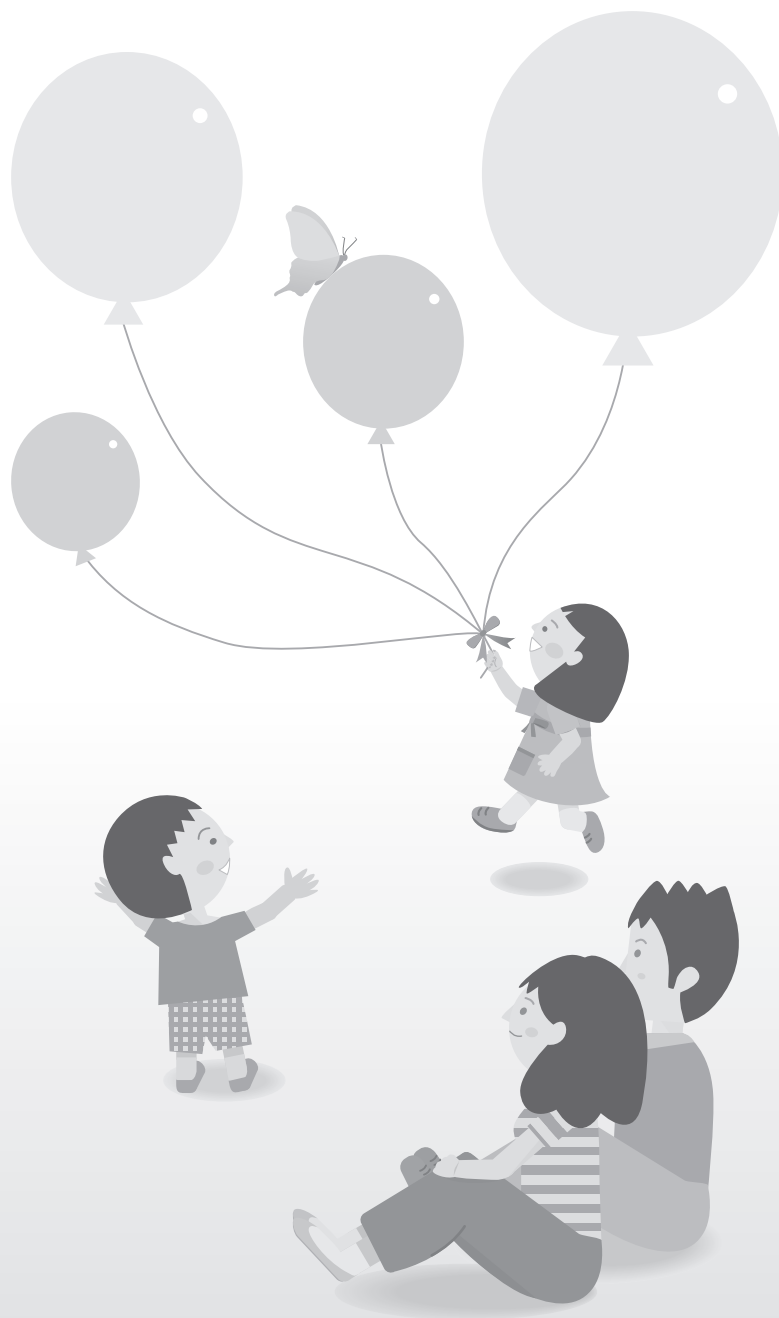
FH-5618AME-RT(PG)

FH-5618AME-RT

FH-3818AME-RT(WH)

FH-3818AME-RT(PG)

FH-3818AME-RT



このたびは弊社製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
- 保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
- この取扱説明書(保証書付)は、いつでもご覧になれるところに保管してください。
- 本文中のイラストはRH-5604(FH-5618)シリーズです。

取扱説明書をお読みになる前に

使ってみよう！

お部屋を暖めたい

風量自動 ▶ 16・17ページ

風量手動 ▶ 18ページ

お部屋を早く暖めたい

速暖 ▶ 19ページ



起床する前にお部屋を暖めたい

入タイマー ▶ 22ページ

就寝後は運転を停止させたい

切タイマー ▶ 23ページ

困ったときは？

お手入れの方法は？

▶ 28～33ページ



温水ルームヒーターの動きがいつもと違う

▶ 34ページ

エラーコードを表示している！

▶ 35ページ

も	く	じ	ページ
ご使用の前に	取扱説明書をお読みになる前に	2	
	安全上の注意	4	
	各部の名称(外観図)	10	
	リモコンの名称とはたらき	12	
	運転の前に(リモコンに乾電池を入れる)(現在時刻を設定する)	13	
	(リモコンの取扱い)(風向調節)(空気清浄フィルタの取付け)	14	
	(温水プラグ・電源プラグの接続)	15	
基本の使いかた	運転する(風量自動)	16	
	(風量手動)	18	
	(速暖)	19	
	(マイナスイオン)	20	
便利な使いかた	タイマーを使う(入タイマー)	22	
	(切タイマー)	23	
	(入タイマー・切タイマーの組み合わせ)	24	
必要なときに	チャイルドロックを設定する	25	
	本体表示部の明るさの切換え	26	
	上手な使いかた	27	
	日常の点検・手入れ(点検・手入れの前に)(点検・手入れの流れ)	28	
	(定期点検のおすすめ)	29	
	(手入れ)	30	
	(シーズン前の準備)	32	
	(シーズン後のお手入れ)(消耗・劣化しやすい部品について)	33	
	故障かな?と思ったら(修理を依頼する前に)	34	
	(エラーコード)	35	
	部品交換について	36	
	仕様	36	
	アフターサービス	38	
	保証書	裏表紙	

安全上の注意(必ずお守りください)

●本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。

 警告	人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容です。	 注意	人が軽傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容です。
---	--------------------------	---	-------------------------------

警告

据付け時

●延長コードの使用、電源コードを切断して延長しない



電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。
電源コードを切断して延長することは絶対にしないでください。また、延長コードは使用しないでください。火災・発熱・感電の原因になります。

●電源はAC100Vを使用する



火災や故障の原因になります。

本体

電源プラグ

電源コード

使用時

電源コード、電源プラグについて

●タコ足配線はしない

火災・発熱・感電の原因になります。



●電源コードは束ねたままで使用しない

火災・発熱・感電の原因になります。



●電源コードは破損させない、加工しない

重い物を載せたり、加熱したり、加工しないでください。傷んだまま使用すると火災や感電の原因になります。



●電源コードを引張らない

電源プラグを抜くときはプラグを持って行ってください。
電源コードを引張って抜くと、断線して火災や発熱の原因になります。



●電源プラグを抜いて停止させない

火災や感電の原因になります。



●濡れた手で電源プラグの抜き差しや、本体のスイッチを操作しない

感電の原因になります。



●異常時使用禁止



運転を停止して電源プラグを抜き、販売店または弊社窓口にご相談ください。
そのまま運転を続けると火災や感電の原因になります。

●電源プラグは確実に差し込む



電源プラグは、ほこりの付着・つまり・がたつきがないことを確認し、刃の根元まで確実に差し込んでください。ほこりの付着・つまり・がたつきがあると、火災や感電の原因になります。コンセントにがたつきがある場合は、販売店または弊社窓口にご相談ください。

●電源プラグのお手入れをする



定期的に電源プラグを抜き、電源プラグとコンセントのほこりを除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

●お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

	禁止 「してはいけない」内容です。		実行 「しなければならない」内容です。
---	----------------------	---	------------------------

移設・修理時

●温水コンセントの設置・移設・再設置は販売店または弊社窓口にご相談する



お客様ご自身で設置をされ不備があると火災・感電・温水漏れの原因になります。

●分解・修理・改造をしない



火災・感電・漏電の原因になります。
機器の点検・修理は販売店または弊社窓口にご相談ください。

●運転中や停止直後に温水プラグや温水チューブを抜かない



温水が漏れてやけどをしたり、家財などを汚す原因になります。

●スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに置いたり、使用したりしない



熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因になります。

●ガソリンやシンナーなど引火しやすい物の周囲で使用しない



火災の原因になります。

●長時間、温風を体にあてない



低温やけどを起こすおそれがありますので注意してください。
特に体力のない病気のかた・乳幼児・お年寄りが使用されるときは周囲のかたが充分注意してください。

●温風吹出口の奥に指や棒などを入れない



内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になります。
特にお子様に注意してください。

温風吹出口



●本体内部の掃除はお客様ご自身で行わず、販売店または弊社窓口にご相談する



市販されているエアコン用の内部洗浄剤は使用しないでください。内部樹脂部品が破損したり、洗浄後の汚水が流れ出たりします。また、電気部品やモータの発火・発煙・故障などの原因になります。

●掃除をするときは運転を停止し、30分以上待ち本体と温水が冷めてから電源プラグを抜く



感電・けが・やけどの原因になります。

安全上の注意(必ずお守りください)

⚠ 注意

据付け時

● 純正部品を使用する

当社純正部品を使用しないと事故の原因になることがあります。



使用時

● リモコンの乾電池について

以下のことを守らないと、破裂や液漏れなどにより、けが・やけどの原因になることがあります。万一液に触れた場合は、水でよく洗い流してください。また、リモコンなどに液が付着した場合は、液に直接触れないでください。

- ・ 充電しない。
- ・ 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
- ・ 乾電池に表示している使用推奨期間を過ぎて使用しない。
- ・ 使い切った乾電池をリモコンに入れたままにしない。
- ・ ショート・分解・加熱・火の中に投入しない。
- ・ 乾電池を廃棄するときは、端子にテープなどを巻きつけて絶縁する。



● 乾電池の取り扱いに注意する

幼児が誤って乾電池を飲み込まないように注意してください。

乾電池を飲み込んだ場合は、すぐにはき出させ、医師に相談してください。健康を害する原因になることがあります。またリモコンを処分するときは乾電池を抜いてください。



● 温風が当たる場所に燃焼器具を置かない

燃焼器具が不完全燃焼を起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になることがあります。



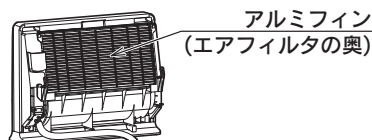
● プラスチック部分には火気を近づけない

火災の原因になることがあります。



● アルミフィンに触らない

フィルタの脱着やお手入れのときはアルミフィンに触らないでください。けがの原因になることがあります。



● 信号線のコネクタを本体から抜かない

熱源機との通信ができなくなります。



リモコン

本体

電源プラグ

電源コード

● 温風吹出口のルーバーの角度をむりに変えない

床やじゅうたんなどの変形・変色・ひび割れなどの原因になることがあります。



● 温風吹出口の周囲にリモコンを置かない

温風により故障の原因になることがあります。



● 温風吹出口の前に椅子やテーブルなどを置かない

温風の循環が妨げられ、効果的な暖房が行えません。



● 家具などに温風を直接あてない

木製品(テーブル・タンス・椅子など)、熱に弱いビニール、樹脂製品に直接温風をあてないでください。変形やそりなどの不具合が生じるおそれがあります。



● 温風のあたる場所は熱に強いマットなどを敷いて使用する

床(フローリング材)の上で長時間使用すると変色したり、そり返ったり、ひび割れることがあります。



● 暖房以外の用途に使用しない

食品・精密機器・美術品の保存や動植物の生育・衣類乾燥など特殊な用途に使用すると、思わぬ事故の原因になることがあります。



使用上の注意

- 本体の上に乗ったり、物を載せたりしない

転倒してけがをしたり、本体の変形や事故の原因になることがあります。



- 乳幼児にリモコンで遊ばせない

誤った操作による体調悪化や健康障害の原因になることがあります。

- 水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器を載せたりしない

漏電による感電や故障の原因になることがあります。

- 燃焼器具を同時に使用するときにはこまめに換気する

換気が不十分な場合、酸欠事故の原因になることがあります。

- 長期間使用しないときは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜き、リモコンから乾電池を取り出す

ほこりによる発火や発熱の原因になることがあります。
乾電池を入れたままにすると乾電池から液が漏れる場合があります。漏れた液が皮膚についたり、目や口に入った場合は、すぐに水で洗って流してください。なお、症状によっては、医師にご相談ください。

- 運転中や停止直後は温風吹出口や前パネルの温度に注意する

温風吹出口や前パネルは熱くなっています。特にお子様が直接手や肌を触れないように注意してください。
やけどの原因になることがあります。

以下の場所では使用しない

- 囲われる場所

過熱や室温制御が正常に作動しなくなる原因になることがあります。

壁組込み設置はしないでください。

- ほこりや湿気が多い場所

エアフィルタがつまりやすくなります。

- 落雷のおそれがあるときの処置

発火や感電、電子部品の損傷による故障の原因になることがありますので、雷が発生したときは、運転を停止しすみやかに電源プラグを抜いてください。

- 凍結予防のため冬期は電源プラグを抜かない

凍結破損の原因になることがあります。

- 傾けたり、横倒しの状態で保管しない

温水が漏れて家財などを汚す原因になることがあります。

安全上の注意(必ずお守りください)

お願い

据付け時

●以下の場所には設置しない

排気口や換気扇などの蒸気・油煙・チリ・湿気・ほこりの排出される付近に設置しないでください。

●アースを接続する

近くにアース端子がある場合はアースを接続することをおすすめします。

使用時

リモコンの注意

●操作が終わったらふたを閉じる

けがや破損の原因になることがあります。

●濡れた手で操作したり、水をかけたりしない

故障の原因になることがあります。

●分解したり乱暴に扱ったりしない

故障の原因になることがあります。

●掃除のときは、ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどを使用しない

印刷や塗装のはがれ・傷・変色などの原因になることがあります。

●一般家庭用として使用する

業務用に使用すると、寿命が短くなる原因になることがあります。

●温水チューブをルームサーミスタに近づけない

温水チューブの中を流れる温水の影響を受けて、室温調節が正確に行われないことがあります。

●電気カーペットなどの上に置かない

電気カーペットなどの熱の影響を受けて、室温調節が正確に行われないことがあります。

以下の場所では使用しない

●水平でない場所、不安定な場所

水平で丈夫な床の上で使用してください。

●風が当たる場所、部屋の出入口、屋外

風が当たって室温調節が正確に行われないことがあります。また、人が出入りする際に本体が転倒し、故障の原因になることがあります。

●不安定な物を載せた棚などの下

物が落ちると危険です。

●直射日光のあたる場所

室温調節が正確に行われないことがあります。また、経年使用により変色や故障の原因になることがあります。

●テレビ・ラジオ・オーディオなどの近く

雑音や誤作動の原因になることがあります。

●温風吹出口や吸込口をふさがない

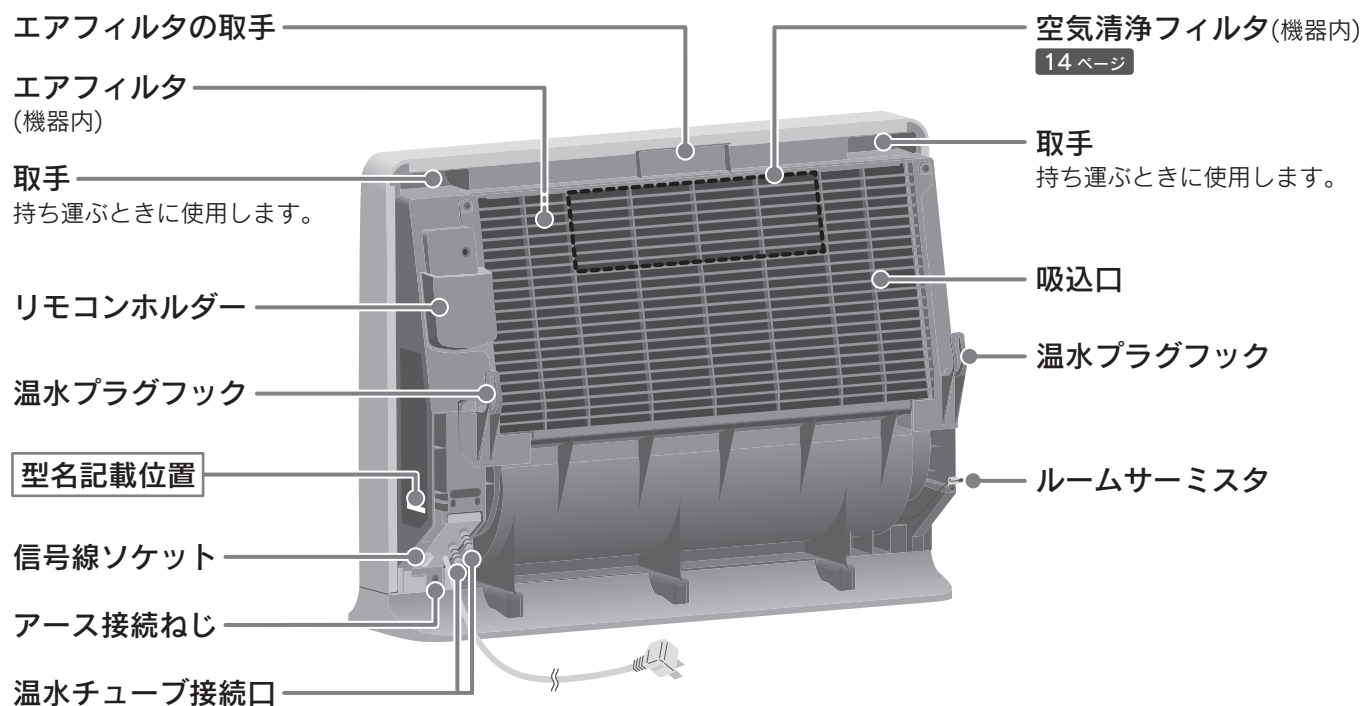
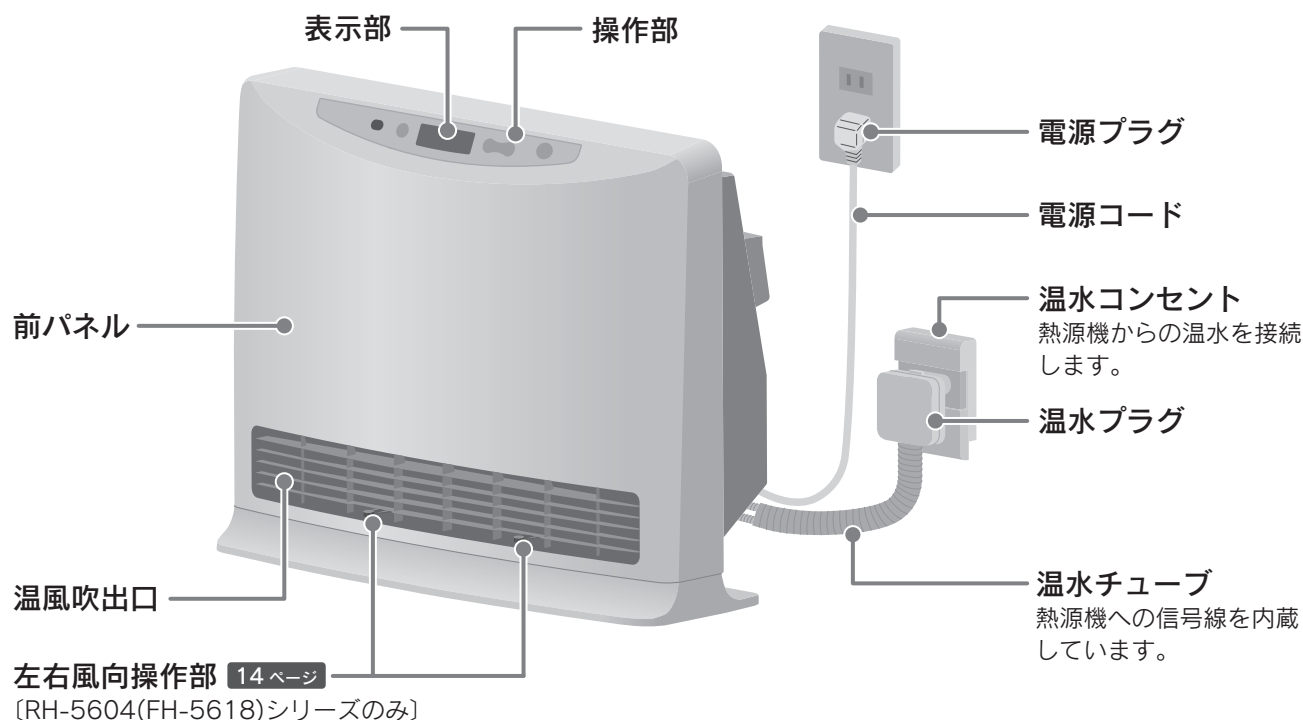
衣類やカーテンなどで温風吹出口や吸込口をふさがないでください。
障害物があると正常な運転ができず、故障や能力低下の原因になることがあります。

●このページは空白です。

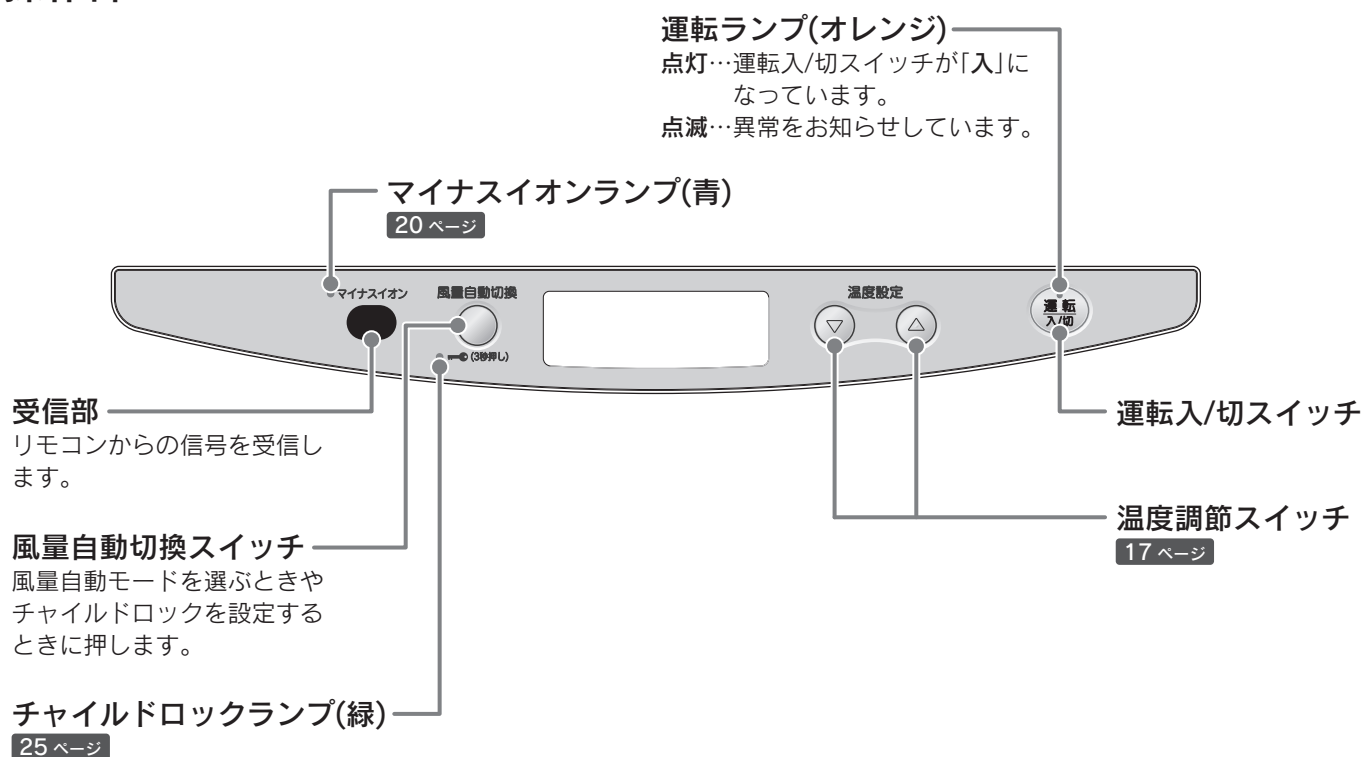
各部の名称

外観図

イラストはイメージです。

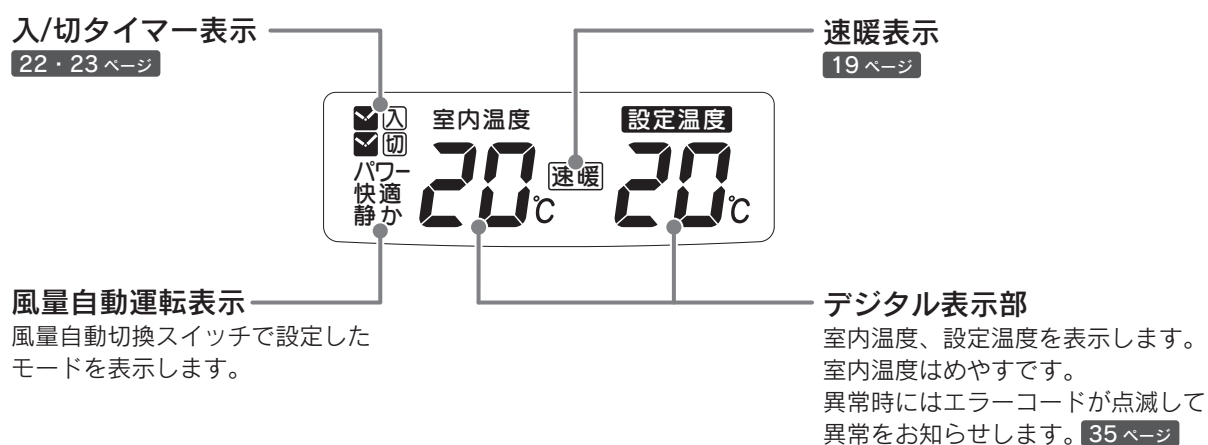


操作部



表示部

表示部は説明のためのもので、実際とは異なります。



リモコンの名称とはたらき

リモコン

送信部

本体の受信部へ信号を送ります。

表示部

表示部は説明のためのもので、実際とは異なります。

風量自動スイッチ 16ページ

入タイマースイッチ 22ページ

運転停止スイッチ

運転の開始や停止をするときに押します。

速暖スイッチ 19ページ

時刻設定スイッチ

現在時刻や入/切タイマー時刻の設定をするときに押します。

風量手動スイッチ 18ページ

切タイマースイッチ 23ページ

温度調節スイッチ

温度を変更するときに押します。

マイナスイオンスイッチ 20ページ

すすむスイッチ もどるスイッチ

現在時刻や入/切タイマー時刻の設定をするときに押します。

表示部明るさスイッチ 26ページ

ふたを開いた状態です。

スイッチを押すと、該当する内容のみを表示した後、すべての設定内容を表示します。

運転の前に

リモコンに乾電池を入れる

1 ふたをはずす

下方にスライドさせるとはずれます。

2 単4形乾電池2本を入れる

⊕⊖の表示に従い、間違いのないように入れてください。
はじめに、乾電池の⊖側をばね側に差し込んで⊕側を入れてください。

3 ふたを取付ける

レールにそって差し込んでください。

4 表示部を確認する

運転停止スイッチを押して表示が出ることを確認してください。

●正常に作動しないときは一度乾電池をはずして、運転停止スイッチを3、4回押した後に、再度入れ直してください。

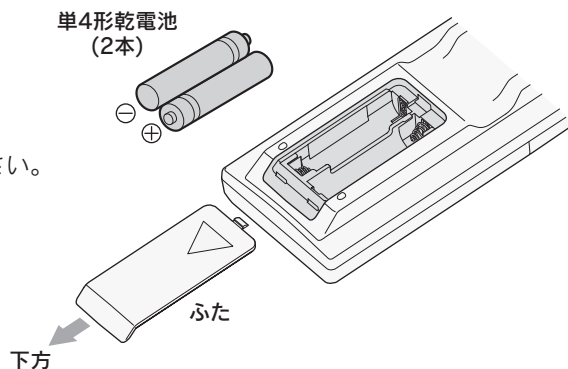
●付属の乾電池はモニター用です。

リモコンの表示がうすくなったり、信号を受けつけなくなったりした場合は交換してください。

・乾電池は2本同時に、同じ種類の新品と交換してください。

・乾電池交換後は現在時刻を設定してください。(乾電池を取出すと、現在時刻やタイマー時刻がお買い求め時の状態に戻ります。)

●長期間使用しない場合は、乾電池をリモコンから取出してください。

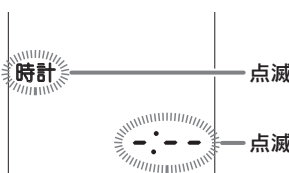


現在時刻を設定する



1 時刻設定 を1回押す

「時計」と時刻表示が点滅します。



2 すすむ または もどる を押して現在時刻を合わせる

1回押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。

3 時刻設定 を3回押す

現在時刻の設定が確定されます。

(何も操作しない状態が約10秒間続いても設定が確定されます。)

お知らせ

●運転中・停止中にかかわらず設定できます。

●現在時刻を設定した後は、停止中でも現在時刻を表示します。

●「入タイマー」「切タイマー」のセット中は現在時刻を変更できません。

●現在時刻を設定しないと、「入タイマー」「切タイマー」は設定できません。



運転の前に

リモコンの取扱い

- リモコンは本体の受信部に向け、信号をさえぎる物がない状態で操作してください。
(本体のリモコンホルダーに入れたまま、操作しないでください。受信)できないことがあります。
- 直射日光が当たる場所やストーブなどの近くには置かないでください。
- リモコンに衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。



風向調節

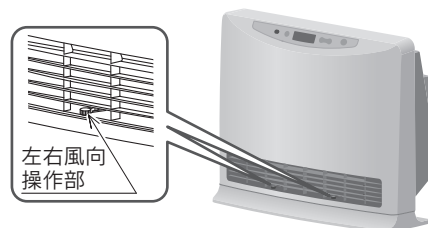
[RH-5604(FH-5618)シリーズのみ]



警告

- 温風吹出口の奥に指や棒などを入れないでください。
内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になります。
特にお子様に注意してください。
- 長時間、温風を体にあてると低温やけどを起こすおそれがあります。
特に体力のない病気のかた・乳幼児・お年寄りが使用されるときは周囲の方が充分注意してください。

- 風向調節を行う場合は運転を停止し、左右風向操作部が冷えていることを確認して手で調節してください。



空気清浄フィルタの取付け



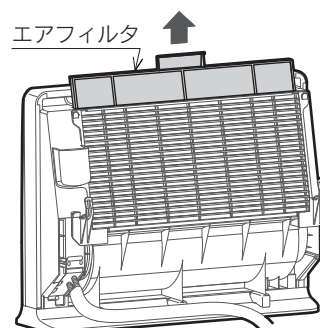
注意

- アルミフィンに触らないでください。けがの原因になることがあります。

- 本体には空気清浄フィルタを以下の枚数付属しています。

製品名(ガス会社品名)	付属枚数
RH-5604RNA-WH-BL [FH-5618AME-RT(WH)] RH-5604RNA-PG-BL [FH-5618AME-RT(PG)] RH-3804RNA-WH-BL [FH-3818AME-RT(WH)] RH-3804RNA-PG-BL [FH-5618AME-RT(PG)] RH-3804RNA-KO-BL [FH-3818AME-RT]	1枚
RH-5604RNA-KO-BL [FH-5618AME-RT]	2枚

※RH-5604RNA-WH-BL [FH-5618AME-RT(WH)]、RH-5604RNA-PG-BL [FH-5618AME-RT(PG)]は空気清浄フィルタを2枚取付けることができます。
2枚取付ける場合は別売の交換用フィルタ(RH-KSF1)をお買い求めください。



1 エアフィルタをはずす

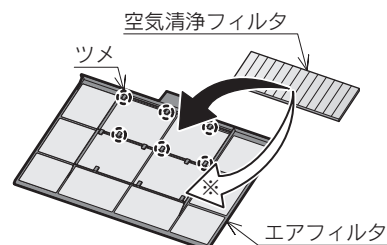
エアフィルタの取手を持ち上げ、引き出します。

2 空気清浄フィルタを取付ける

エアフィルタ枠のツメとフィルタの間に空気清浄フィルタを差し込みます。

3 エアフィルタを取付ける

空気清浄フィルタが本体の正面側になる向きで差し込みます。



温水プラグ・電源プラグの接続



警告

- 電源プラグのほこりを掃除して、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。火災や感電の原因になります。

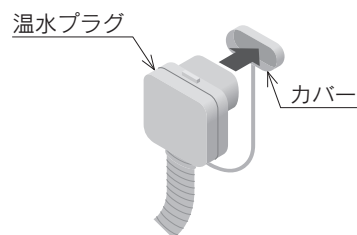


注意

- 温水プラグはプラスチック、ゴムなどの材料を使用しています。絶対に蹴ったり、たたいたりしないでください。強い力などが加わると破損し温水漏れの原因になることがあります。
- 温水プラグはまっすぐ確実に差し込んでください。

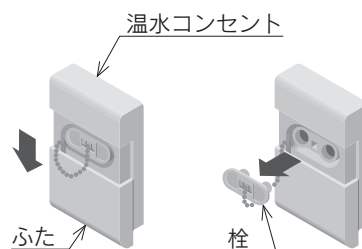
1 温水プラグのカバーをはずす

温水がプラグ部に付着している場合は、温水をふきとってください。

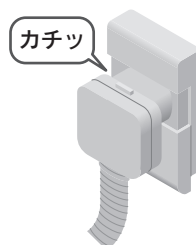


2 温水コンセントの栓をはずす

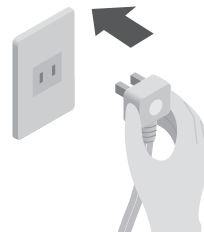
ふたを下げ、鎖を引張ってください。



3 温水プラグを温水コンセントに「カチッ」と音がするまで差し込む

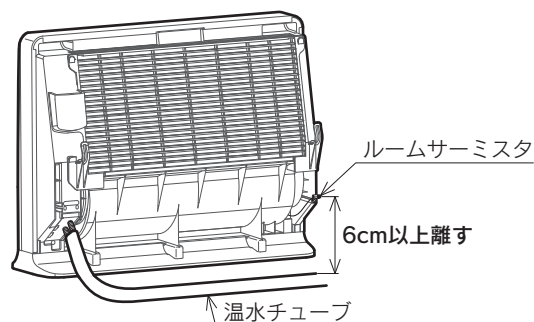


4 本体の電源プラグをコンセントに差し込む



お知らせ

- 本体を壁際に設置する場合は、温水チューブがつぶれないように注意してください。
- 温水チューブを本体の背面に引き回す場合は、温水チューブとルームサーミスタを6cm以上離してください。ルームサーミスタが温水チューブの中を流れる温水の影響を受けて、正確な室温の調節ができなくなります。
- ルームサーミスタが壁やカーテンなどにあたらないよう隙間を空けてください。



運転する

風量自動

お部屋の状況に合わせて風量自動モードを選択すると、風量を自動的に切換えて室温調節を行います。

リモコンで操作する場合



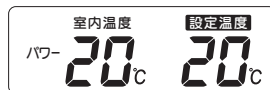
1

運転
停止

を押す

- 本体の運転ランプと表示部が点灯します。

本体表示部



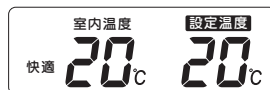
2

風量自動を押して風量自動モードを選ぶ

- 押すごとに以下の順に変わります。

パワー→快適→静か
↑

本体表示部



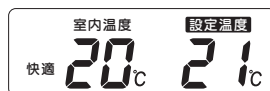
風量自動モード	風量自動範囲
パワー	強・中・弱・微・対流
快適	中・弱・微・対流
静か	弱・微・対流

温度を変更するときは▲または▼を押す

設定範囲

10～30℃(1℃単位)

本体表示部



3

停止するときは

運転
停止

を押す

- 本体の運転ランプと表示部が消灯します。
- 次回、運転停止を押して運転を開始すると前回と同じ運転を行います。

お知らせ

- 最大風量は「パワー：強」、「快適：中」、「静か：弱」となります。
- 「対流」とは送風を停止して温水を循環させ、自然な空気の流れで対流させることです。
春先や秋口、また狭い部屋で使用した場合には、風量が「微」でも室温が設定温度より高くなってしまいます。
この場合は室温が設定温度より2℃上昇すると送風ファンは自動的に停止し、「対流」になります。
- 本体を運転中に温水温度が低くなった場合は、一時的に送風を停止することがあります。
- 「風量自動」と「風量手動」は同時にはできません。

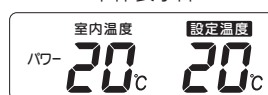
本体で操作する場合



1 運転入/切を押す

- 運転ランプと表示部が点灯します。

本体表示部



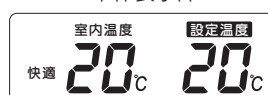
2 風量自動切換を押して風量自動モードを選ぶ

- 押すごとに以下の順に変わります。

パワー → 快適 → 静か



本体表示部



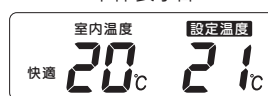
風量自動モード	風量自動範囲
パワー	強・中・弱・微・対流
快適	中・弱・微・対流
静か	弱・微・対流

温度を変更するときは▽ または △ を押す

設定範囲

10～30℃ (1℃単位)

本体表示部



3 停止するときは運転入/切を押す

- 運転ランプと表示部が消灯します。
- 次回、運転入/切を押して運転を開始すると前回と同じ運転を行います。

運転する

風量手動

お好みの風量で運転します。



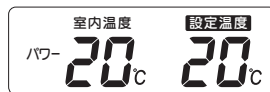
1

運転
停止

を押す

- 本体の運転ランプと表示部が点灯します。

本体表示部



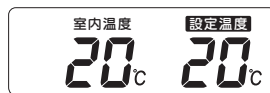
2

風量手動を押して風量を変更する

- 押すごとに以下の順に変わります。

強 → 中 → 弱 → 微 → 対流
↑

本体表示部



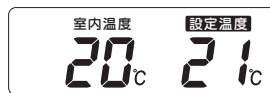
※風量を「対流」に設定した場合は設定温度が消灯し、温度の変更ができません。

温度を変更するときは ▲ または ▼ を押す

設定範囲

10～30℃ (1℃単位)

本体表示部



3

停止するときは

運転
停止

を押す

- 本体の運転ランプと表示部が消灯します。
- 次回、運転停止を押して運転を開始すると前回と同じ運転を行います。

お知らせ

- 「対流」とは送風を停止して温水を循環させ、自然な空気の流れで対流させることです。
- 「対流」に設定した場合はマイナスイオンは発生しません。
- 室温が設定温度より2℃上昇すると送風ファンは自動的に停止し、「対流」になります。
- 本体を運転中に温水温度が低くなった場合は、一時的に送風を停止することがあります。
- 「風量自動」と「風量手動」は同時にはできません。

速暖

暖房中にしばらく部屋を離れる場合、**速暖**を押して本体を停止させておくと、部屋に戻って運転を再開したときに温風の吹き出しが早くなります。
(速暖表示が点灯中は、温水を保温しながら本体に循環させています。)



1

速暖を押す

- 本体が停止(温風の吹き出しが止まります。)して運転ランプと速暖表示が点灯します。

本体表示部



※運転停止中に**速暖**を押しても「速暖」は有効になります。

解除するときはもう一度 **速暖** を押す

- 本体の運転ランプと速暖表示が消灯します。
また、「速暖」を開始してから約1時間経過すると自動的に停止します。

暖房運転を再開する

2

運転停止を押す

- 風量自動** または **風量手動** を押しても暖房運転を再開します。
- 本体が運転を開始(温風が吹き出します。)して、速暖表示が消灯します。

お知らせ

- 温水ルームヒーターは熱源機で温められた温水を循環させ、温風に変えて吹き出す間接暖房方式です。「速暖」を行っていないときに運転を再開すると、温水が一定温度まで上昇し温風を吹き出し始めるまで数分かかります。
(温風を吹き出し始める時間は、使用条件や熱源機の種類により異なります。)
- 「速暖」のタイマー予約はできません。
- 運転停止中に**速暖**を押した場合、熱源機の温水温度が上昇するまでは**運転停止** または **風量自動** または **風量手動** を押しても温風を吹き出しません。
- 「速暖」は運転開始から約1時間経過すると自動的に終了しますが、リモコンの速暖表示は消えません。消したい場合はもう一度**速暖**を押してください。

運転する

マイナスイオン

マイナスイオンの発生を開始させたり、停止させたりします。



運転している場合（運転中に「マイナスイオン」を同時に行う場合です。）

1 マイナスイオンを押す

- 本体のマイナスイオンランプが点灯します。

マイナスイオンのみを停止する

2 マイナスイオンを押す

- 本体のマイナスイオンランプが消灯します。

運転も同時に停止する

2 運転停止を押す

- 本体の運転ランプとマイナスイオンランプが消灯します。
次回からは運転を開始すると同時に「マイナスイオン」を行います。

停止している場合（「マイナスイオン」を単独で行う場合です。）

1 マイナスイオンを押す

- 本体のマイナスイオンランプが点灯します。

風量を変更するときは 風量手動を押す

- 押すごとに以下の順に変わります。

強 → 中 → 弱 → 微
↑

2 停止するときは マイナスイオン または 運転停止を押す

- 本体の運転ランプとマイナスイオンランプが消灯します。

お知らせ

- 「マイナスイオン」は「風量手動」の「対流」や「速暖」と同時にはできません。
- 本体のマイナスイオンランプとリモコンのマイナスイオン表示は、「風量自動」中の「対流」や「入タイマー」の予約中にマイナスイオンの発生が中断しているときも、点灯や表示をします。

●このページは空白です。

タイマーを使う

入タイマー

設定時刻に運転を開始します。
おめざめ前やご帰宅時に合わせてご使用ください。

入タイマーの特長

室温が7℃未満の場合…設定時刻の約30分前に運転を開始します。

室温が7℃以上の場合…設定時刻の約15分前に運転を開始します。



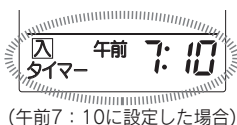
入タイマー時刻の設定

現在時刻が合っていることを確認してください。 **13ページ**

1 時刻設定 を2回押す

2 すすむ または もどる を押して入タイマー時刻を変更する

- 10分単位で変わり、押し続けると早送りになります。
- 現在時刻から24時間以内のセットができます。



お買い求め時
午前5:00

3 時刻設定 を2回押す

- 入タイマー時刻が確定され、現在時刻を表示します。
(約10秒間操作しない場合も入タイマー時刻が確定され、現在時刻を表示します。)

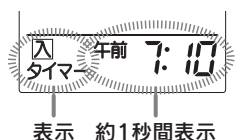


入タイマーのセット

4 入タイマー を押す

- 「**入タイマー**」を表示して、本体の入タイマー表示が点灯します。
 - 入タイマー時刻を約1秒間表示した後、現在時刻に戻ります。
- ※「対流」中に「入タイマー」をセットした場合は設定温度を表示しません。

本体表示部



お知らせ

- 入タイマー時刻の設定やセットは、運転中・停止中にかかわらずできます。
(運転中にセットすると、現在の運転を停止します。)
- 「入タイマー」をセット中は入タイマー時刻の変更はできません。
- 入タイマー時刻を記憶しますので、次回は**入タイマー**を押すだけで同じ時刻に運転を開始します。

解除するときはもう一度 **入タイマー** を押す

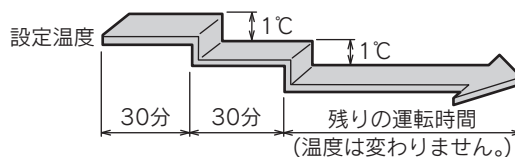
- 本体の **入タイマー** が消灯し、運転を開始します。
- 運転を停止する場合は、**運転停止** を押してください。

切タイマー

設定時刻に運転を停止します。
おやすみになるときなどにご使用ください。

切タイマーの特長

タイマーセット後、約30分で設定温度が1℃下がり、更に約30分後1℃下がります。
(本体表示部とリモコンの設定温度の表示は変わりません。)



ご使用の前に

基本の使いかた

便利な使いかた

必要ときに



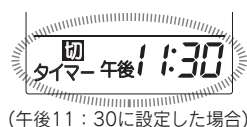
切タイマー時刻の設定

現在時刻が合っていることを確認してください。 **13ページ**

1 時刻設定 を3回押す

2 すすむ または もどる を押して切タイマー時刻を変更する

- 10分単位で変わり、押し続けると早送りになります。
- 現在時刻から24時間以内のセットができます。



(午後11:30に設定した場合)

お買い求め時
午後10:00

3 時刻設定 を1回押す

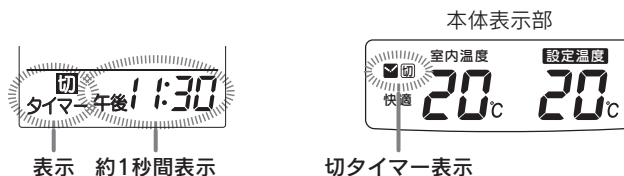
- 切タイマー時刻が確定され、現在時刻を表示します。
(約10秒間操作しない場合も切タイマー時刻が確定され、現在時刻を表示します。)



切タイマーのセット

4 切タイマー を押す

- 「**切タイマー**」を表示して、本体の切タイマー表示が点灯します。
- 切タイマー時刻を約1秒間表示した後、現在時刻に戻ります。



表示 約1秒間表示

切タイマー表示

お知らせ

- 切タイマー時刻の設定やセットは、運転中・停止中にかかわらずできます。
(停止中にセットすると、運転を開始します。)
- 「切タイマー」をセット中は切タイマー時刻の変更はできません。
- 切タイマー時刻を記憶しますので、次回は**切タイマー**を押すだけで同じ時刻に運転を停止します。

解除するときにはもう一度**切タイマー**を押す

- 本体の**切タイマー**が消灯し、運転を継続します。
運転を停止する場合は、**運転停止**を押してください。

タイマーを使う

入タイマー・切タイマーの組み合わせ

「入タイマー」と「切タイマー」は、現在時刻に対して設定時刻の早い方から作動します。

入タイマー・切タイマーのセット

1

入タイマー と **切タイマー** を押してセットする

- 「入タイマー」「切タイマー」はどちらのスイッチを先に押しても設定時刻の早い方から作動します。



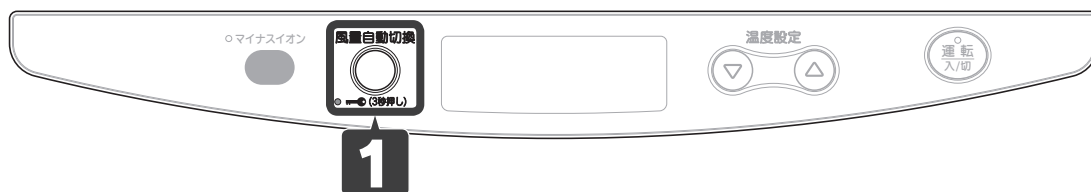
お知らせ

- 「入タイマー」の開始時刻は室内の温度によって異なります。 [22ページ](#)
- 「入タイマー」「切タイマー」のセット中にタイマー時刻を変更する場合は、一度タイマーのセットを解除した後に「入タイマー」「切タイマー」の「タイマー時刻の設定 **1 2 3**」と「タイマーのセット **4**」を行ってください。 [22・23ページ](#)

チャイルドロックを設定する

チャイルドロック

お子様のいたずらによる操作を防止します。



1

風量自動切換

を約3秒間押す

- チャイルドロックランプが点灯します。
- 「チャイルドロック」を設定しても、本体の  またはリモコンの  で運転を停止する操作は受け付けます。

解除するときは  を約3秒間押す

- チャイルドロックランプが消灯します。

お知らせ

- 運転停止中に「チャイルドロック」を設定すると、すべての操作ができなくなります。「チャイルドロック」を解除してから操作してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電すると「チャイルドロック」は解除されます。

本体表示部の明るさの切換え

本体の表示部とランプの明るさを変更することができます。



1 表示部明るさ [] を押す

●押すごとに4段階に変わります。

お知らせ

- 本体表示部の明るさを変更すると、次回運転時も同じ明るさになります。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電すると明るさはお買い求め時の状態になります。

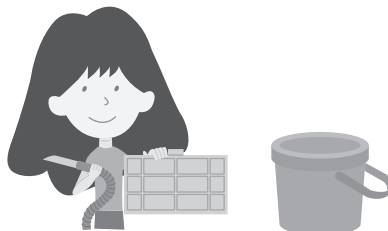
上手な使いかた

室温は適温に設定する



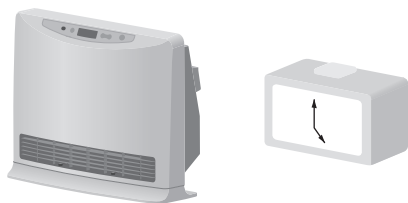
暖めすぎに注意してください。

エアフィルタや空気清浄フィルタを掃除する 30・31ページ



空気清浄効果の低下・臭いの発生・暖房能力の低下になりますので、定期的にお手入れを行ってください。

タイマーを有効に使う 22～24ページ



日常の点検・手入れ

点検・手入れの前に

警告

- 部品の分解や調整は絶対にしないでください。火災・感電・けが・温水漏れの原因になります。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しや本体のスイッチを操作しないでください。感電の原因になります。
- 点検や手入れは運転を停止し、30分以上待ち本体と温水が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。感電・けが・やけどの原因になります。
- 電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引張って抜くと、断線して火災や発熱の原因になります。

注意

- 本体に直接水をかけて掃除をしないでください。感電の原因になることがあります。
- 機器内のアルミフィンに触らないでください。けがの原因になることがあります。
- エアフィルタは、水気を充分ふきとって陰干ししてください。水気が残ったまま取付けると感電や故障の原因になることがあります。
- 点検や手入れのときは手袋などの保護具を着用してください。
- 異常があるときは、販売店または弊社窓口にご連絡ください。

お願い

次のものは使用しないでください

ガソリン・ベンジン・シンナー・
みがき粉・ガラスクリーナーなど
塗装のはがれ・傷・変色の原因になることが
あります。



40℃以上のお湯

変色や変形の原因になることがあります。



点検・手入れの流れ

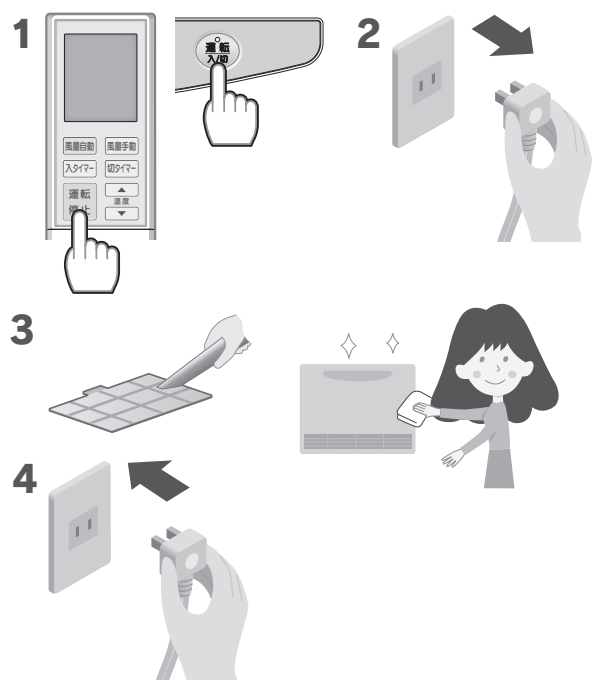
1 リモコンの運転停止スイッチまたは本体の
運転入/切スイッチを「切」にする

2 電源プラグを抜く

運転を停止し、30分以上待ち、本体と温水が冷めてから
電源プラグを抜いてください。

3 点検・手入れを行う

4 電源プラグを差し込む



定期点検のおすすめ

- 数シーズンご使用になりますと、本体の内部が汚れ、能力低下の原因になることがあります。
日常の手入れとは別に定期点検(有料)を受けることをおすすめします。詳しくは販売店または弊社窓口にご相談ください。
- 本体内部の掃除はお客様ご自身で行わず、販売店または弊社窓口にご相談ください。
市販されているエアコン用の内部洗浄剤は使用しないでください。内部樹脂部品が破損したり、洗浄後の汚水が流れ出たりします。また、電気部品やモータの発火・発煙・故障などの原因になることがあります。

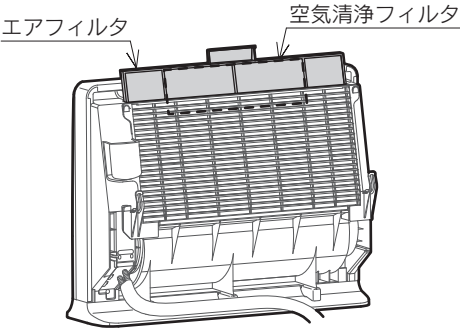
日常の点検・手入れ

手入れ

フィルタ

お手入れのめやす

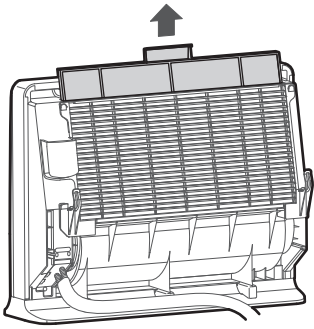
名 称	時 期	方 法
エアフィルタ	1週間に1回	掃除機でほこりを吸い取る 汚れがひどい場合は水洗いする
空気清浄フィルタ (交換用フィルタ：RH-KSF1)	適時に	掃除機でほこりを吸い取る 汚れがひどい場合は交換する ※水洗いは絶対にしないでください。
	3年に1回	交換する



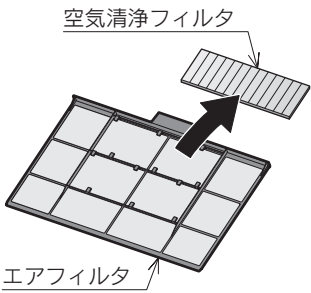
エアフィルタや空気清浄フィルタが汚れたまま使用すると、空気清浄効果が得られなかったり、臭いが発生したり、暖房能力が落ちたりします。お手入れは定期的に行ってください。

1 エアフィルタをはずす

エアフィルタの取手を持ち上げ、引き出します。



2 空気清浄フィルタをはずす



適時に

本体

温風吹出口は掃除機でほこりを吸い取ってください。
本体は水や化学そうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
汚れがひどい場合はぬるま湯や水に中性洗剤を入れ、布に含ませてふくと効果的です。布をよくしぼってください。
中性洗剤はよくふきとってください。変色・ひび割れの原因になることがあります。

リモコン

水や化学そうきんなどは使わず、柔らかい布でからぶきしてください。
ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷や変色の原因になることがあります。

3 掃除をする

エアフィルタ

掃除機でほこりを吸い取ります。
汚れがひどい場合は水洗いします。
※水洗いの後は日陰でよく乾かしてください。



掃除機でほこりを吸い取る

水洗いをする

空気清浄フィルタ

水洗いは絶対にしないでください。
掃除機でほこりを吸い取ります。
汚れがひどい場合、または3年に1回交換してください。



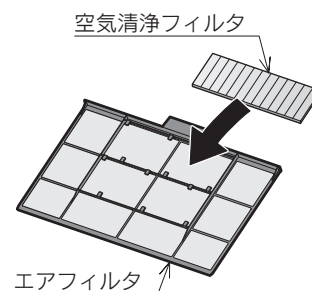
掃除機でほこりを吸い取る

交換する

水洗いは絶対にしないでください。

4 空気清浄フィルタを取付ける

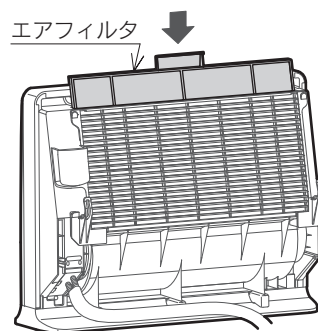
空気清浄フィルタをエアフィルタに取付けます。



エアフィルタ

5 エアフィルタを取付ける

空気清浄フィルタが本体の正面側になる向きで差し込みます。
取付けずに運転するとほこりなどが内部に入り、故障や汚れの原因になることがあります。



エアフィルタ

お知らせ

- 空気清浄フィルタを廃棄するときは、不燃物ゴミとしてお住まいの地域のゴミ収集規則に従ってください。
- 空気清浄フィルタの保管は高温多湿を避け、開封後はなるべく早く使用してください。開封したまま放置すると空気清浄効果が低下します。

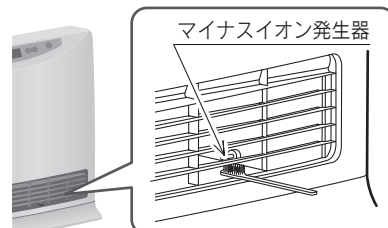
1ヶ月に1回以上

マイナスイオン発生器

マイナスイオン発生器内部の金属針の先端を歯ブラシなどで3～4回軽くこすってください。
綿棒などの毛羽立つものは使用しないでください。

お知らせ

- ほこりがたまるとマイナスイオンの発生が減り、電磁音(ジー)が出る場合があります。
- シーズン始めには必ず掃除をしてください。



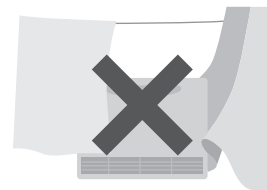
マイナスイオン発生器

日常の点検・手入れ

シーズン前の準備

1 吸込口や温風吹出口が障害物(壁やカーテンなど)でふさがれていないことを確認する

吸込口や温風吹出口がふさがれていると正常な運転ができず、故障や能力低下の原因になることがあります。



2 エアフィルタや空気清浄フィルタの掃除と確認をする

エアフィルタや空気清浄フィルタを掃除し、本体に取付けます。
取付けないで運転するとほこりなどが内部に入って、故障の原因になることがあります。必ず取付けてください。**30・31ページ**
※ご購入後はじめて使用する場合は、掃除の必要はありません。
付属の空気清浄フィルタを取付けてください。**30・31ページ**

3 リモコンに乾電池を入れる **13ページ**

4 現在時刻を合わせる **13ページ**

5 マイナスイオン発生器を掃除する **31ページ**

※ご購入後はじめて使用する場合は、掃除の必要はありません。

6 温水プラグ・電源プラグを接続する **15ページ**

シーズン後のお手入れ

⚠ 注意

- 熱源機と接続しているすべての本体の運転を停止し、約30分程度待って、本体と温水が冷めてから行ってください。やけどの原因になることがあります。
- 本体は絶対に傾けたり、横倒しの状態で保管しないでください。温水が漏れて家財などを汚す原因になることがあります。

シーズン終了後や長期間使用しない場合は、次の要領に従って保管してください。

1 電源プラグを抜く

2 温水プラグを温水コンセントから抜く

温水プラグから少量の温水が落ちますので、そうきんなどを下に置いてください。

3 温水プラグにカバーをする

少量の温水がプラグ部に付着していますので、温水プラグをふいて、カバーを取付けてください。

4 温水コンセントに栓をして、ふたを閉じる

少量の温水がコンセント部に付着していますので、コンセント部をふいて栓を差し込み、ふたを閉じてください。

5 温水プラグのチューブを温水プラグフックに引掛ける

温水漏れによる故障を防ぎます。

※ご使用の機種が

RH-5604RNA-KO-BL (FH-5618AME-RT)、RH-3804RNA-KO-BL (FH-3818AME-RT) 以外の場合

6 お手入れをする

エアフィルタ・空気清浄フィルタ・リモコンなどを掃除してください。

30・31ページ

エアフィルタ・空気清浄フィルタを取りはずした場合は、元通りに取付けてください。

7 リモコンの乾電池を取出す

液漏れによる故障を防ぎます。

8 保管する

湿気の少ないところに保管してください。

温水コンセント

温水プラグ

カバー

栓

ふた

温水プラグフック

消耗・劣化しやすい部品について

温水チューブは長期間使用していると固くなり本体からの抜け、温水漏れの原因になることがあります。

また温水プラグのOリングに変形・傷などがあると水漏れする可能性があります。

ともに消耗品であるため、定期的な交換をおすすめします。

劣化した場合には、販売店または弊社窓口へご相談ください。

※消耗部品代はお客様の負担になります。

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。
それでも直らないときや原因がわからないときは販売店または弊社窓口にご連絡ください。

	こんなときは	確認してください
運転しない	運転しない	●停電していませんか。 ●ブレーカーが「切」になっていませんか。 ●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●「チャイルドロック」が設定されていませんか。解除してください。 25ページ
	ファンが回らず温風が出ない	●温水コンセントがはずれていませんか。 ●室温が設定温度より約2℃上昇して「対流」になっていませんか。設定温度が適切であることを確認してください。 16ページ ●「風量手動」の「対流」に設定していませんか。 18ページ ●「速暖」に設定していませんか。 19ページ ●運転開始時、温水温度が低いとすぐに温風が出ません。温水温度が上がるまでしばらくお待ちください。 ●熱源機が故障していませんか。熱源機の取扱説明書に従って処置してください。 ●1台の熱源機に接続した複数の本体を同時に運転させると送風が停止することがありますので、部屋を早く暖める場合は本体を交互に運転させてください。
	ファンが回らず温風が出ない 室内温度の表示が実際と異なる	●本体に風や直射日光があたったり、温水チューブとルームサーミスタが近い位置にあると正確な室内温度が感知できません。置く場所の周囲には注意してください。また、温水チューブとルームサーミスタは6cm以上離してください。
	温風が出ない	●「マイナスイオン」を単独で行っていませんか。 20ページ
暖まらない	温風の出方が左右で違う	●エアフィルタが目詰まりしていませんか。エアフィルタを掃除してください。 30・31ページ
	暖房能力が低下した	●エアフィルタが目詰まりしていませんか。エアフィルタを掃除してください。 30・31ページ ●温水チューブがつぶれていませんか。つぶれないように注意してください。
音がする	運転開始後や停止後に「ピシッ」「バキッ」という音がする	●運転中に本体から音がすることがあります。これは温度変化により、樹脂部品がわずかに伸縮するため発生する音です。
	運転中や運転モード切換時に「カチッ」「ウーン」「コトコト」という音がする	●リレーの作動、熱動弁の開閉、ファンの速度変更時に発生する音です。
	マイナスイオン運転中に「ジー」という音がする	●マイナスイオン発生器にほこりがたまると異音が発生することがあります。マイナスイオン発生器のお手入れをしてください。 31ページ
	水の流れる音がする	●運転中や運転停止直後は本体内に温水が流れています。 ●室温が低いときに凍結予防機能が働き、本体内に温水が流れる場合があります。
リモコン	リモコン信号を受信しない、感度が悪い	●リモコンを本体の受信部に向けていますか。 リモコンを受信部に向けていないと、受信できる距離が短くなります。 ●乾電池が消耗している可能性があります。 「リモコンに乾電池を入れる」に従い、2本同時に同じ種類の新品と交換してください。 13ページ ●電子式点灯方式の蛍光灯(インバータ蛍光灯など)・液晶テレビ・プラズマテレビがあるお部屋では、信号を受け付けにくいことがあります。販売店または弊社窓口にご相談ください。 ●テレビやビデオなど他の機器に使用しているリモコンから同時に信号を発信しているときは、温水ルームヒーターのリモコン信号を受信できなくなることがあります。 「リモコンラック(小物入れ)に他の機器のリモコンを収納している場合、つめすぎやリモコンラックの縁でスイッチが押されていることがあります。」 ●受信部に直射日光があたると作動しにくくなる場合があります。 ●リモコン送信部に直射日光があたると、本体が受信できないことがあります。
	表示が薄い、出ない 表示が勝手に変わる	●乾電池の⊕⊖が逆になっていませんか。 ●乾電池が消耗している可能性があります。 「リモコンに乾電池を入れる」に従い、2本同時に同じ種類の新品と交換してください。 13ページ
	本体の表示部やリモコンの表示の色が変化する	●本体の表示部やリモコンの表示を正面以外から見ると色が変わって見えることがあります。また表示が薄く見えたり、明るさにムラが生じる場合があります。
	現在時刻が消えている 設定したタイマー時刻が違う 時刻になっている	●乾電池をリモコンから取出すと、現在時刻やタイマー時刻がお買い求め時の状態に戻ります。
その他	運転中に誤作動する 動かなくなった リモコン操作を受け付けない	●雷や自動車無線などの影響が考えられます。この場合、電源プラグをコンセントから抜き、3分以上経過したら再度差し込んで、リモコンの運転停止スイッチまたは本体の運転入/切スイッチを「入」にしてください。

エラーコード

異常・故障の場合は本体表示部にエラーコードを表示します。

本体表示部

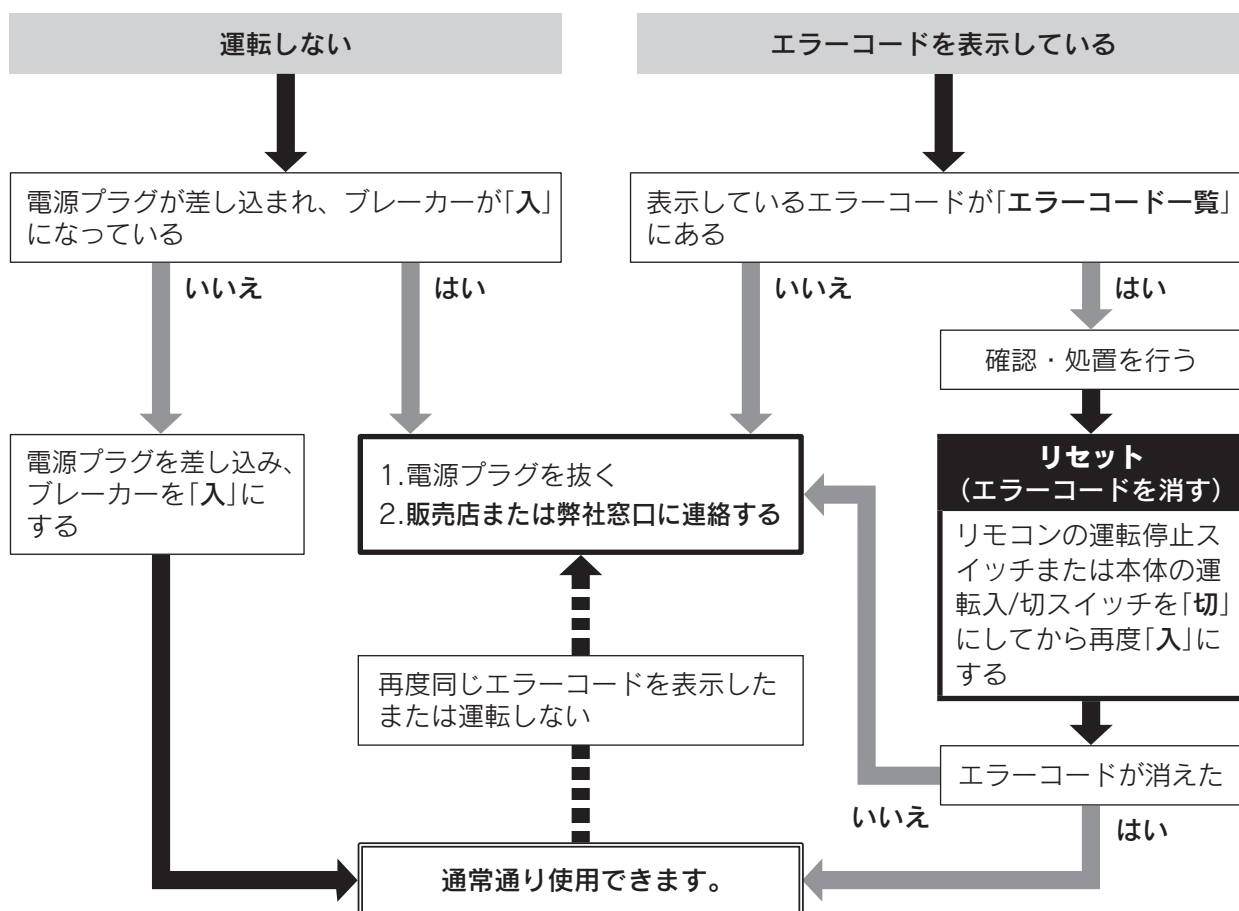


エラーコード

表示部は説明のためのもので実際とは異なります。

本体表示部にエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき

●以下の処置を行ってください。



エラーコード一覧

●エラー表示を繰り返す場合や記載がないエラーコードを表示したときは、使用を中止して販売店または弊社窓口にご連絡ください。
 (「本体表示部にエラーコードを表示したとき/機器が運転しないとき」参照。)

エラーコード	説 明	確 認 ・ 処 置
15	本体内部が高温になっていることを検知した	30分以上待ち、温水が冷めてからリセットしてください。
16	室内が高温になっていることを検知した	室温が低下してからリセットしてください。 温水チューブとルームサーミスタが近い場合は、6cm以上離してください。

部品交換について

部品交換が必要になったときは、販売店または弊社窓口にご依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、販売店または弊社窓口にご依頼してください。

仕 様

製品名	RH-5604RNA-WH-BL	RH-5604RNA-PG-BL	RH-5604RNA-KO-BL
ガス会社品名	FH-5618AME-RT(WH)	FH-5618AME-RT(PG)	FH-5618AME-RT
パネル色調	シルキーホワイト	ピンクゴールド	シルキーホワイト
定格暖房能力	5.6kW(80℃ 2.5L/min)		
応用暖房能力	5.2kW(80℃ 2.0L/min)		
損失水頭	19.7kPa(2.5L/min) 13.0kPa(2.0L/min)		
最高使用圧力	98.1kPa(1kgf/cm ²)		
電源電圧及び周波数	AC100V 50/60Hz		
定格消費電力(50/60Hz)	38/43W		
騒音(50/60Hz)	43/44dB		
外形寸法	高さ 475mm 幅 605mm 奥行き 200mm		
質量	9.5kg		
配管接続	φ8mm用温水チューブ		φ7樹脂管チューブ
付属部品	リモコン、単4形乾電池(2個)、空気清浄フィルタ(※1)、保護クッション(※2) E-Con接続コネクタ(※3)、コードクランプ(※3) 樹脂管チューブ接続継手(2個)(※4)、やけど防止シール(2枚)(※4)、クイックファスナ(2個)(※4) 取扱説明書(保証書付)、工事説明書		

- 本体の暖房能力は熱源機に温水配管3mで接続した実測値で、室温20℃のときの値です。
- 騒音値はJISの試験方法による当社無響室における測定値です。
実際の使用では室内での反響により仕様値より大きくなる場合があります。
- ※1 RH-5604RNA-KO-BL(FH-5618AME-RT)には2枚付属しています。
- ※2 フローリングの床または畳で使用する場合に、本体底面に貼り付けます。
- ※3 FHシリーズのみに付属しています。
- ※4 製品名に-KOが入っている製品のみに付属しています。

RH-3804RNA-WH-BL	RH-3804RNA-PG-BL	RH-3804RNA-KO-BL
FH-3818AME-RT(WH)	FH-3818AME-RT(PG)	FH-3818AME-RT
シルキーホワイト	ピンクゴールド	シルキーホワイト
3.8kW(80℃ 2.5L/min)		
3.5kW(80℃ 2.0L/min)		
18.4kPa(2.5L/min) 11.9kPa(2.0L/min)		
98.1kPa(1kgf/cm ²)		
AC100V 50/60Hz		
25/30W		
42/42dB		
高さ 475mm 幅 445mm 奥行き 200mm		
7.5kg		
φ8mm用温水チューブ		φ7樹脂管チューブ
リモコン、単4形乾電池(2個)、空気清浄フィルタ、保護クッション(※2) E-Con接続コネクタ(※3)、コードクランプ(※3) 樹脂管チューブ接続継手(2個)(※4)、やけど防止シール(2枚)(※4)、クイックファスナ(2個)(※4) 取扱説明書(保証書付)、工事説明書		

アフターサービス

サービスを依頼されるとき

34・35ページの「故障かな?と思ったら」「エラーコード」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または弊社窓口へご連絡ください。

●連絡していただきたい内容

- ・製品名……………機器側面に貼り付けてある銘板をご覧ください。
- ・お買い上げ日…保証書をご覧ください。
- ・異常の状況……エラー表示など、できるだけ詳しく
- ・ご住所・ご氏名・電話番号
- ・訪問ご希望日

●修理料金のしくみ

修理料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」などで構成されています。

技術料……………製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。
部品代……………修理に使用した部品代金です。
出張料……………診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。
(工事店にご相談ください。)

保証について

この取扱説明書には保証書がついています。
必ず販売店・お買い上げ日などが記入されていることを確認してください。
保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。
なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

BL認定品について

BL認定品には、本体の側面にBLマークを表示しています。
BL認定品は「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。
ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

メモ

ご使用の前に

基本の使いかた

便利な使いかた

必要なときに

無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

お客さま	ご芳名	様	製品名	【BL認定品】	
	ご住所			RH-5604RNA-WH-BL	RH-3804RNA-WH-BL
販売店	店名	扱 者 印	ガス会社品名	【BL認定品】	
	住所			RH-5604RNA-PG-BL	RH-3804RNA-PG-BL
	電話番号			RH-5604RNA-KO-BL	RH-3804RNA-KO-BL
お買い上げ日		年 月 日			

〈保証対象部分・保証期間〉

- 保証対象部分：機器本体（リモコン含む）＜乾電池は対象外＞
- 保証期間：お買い上げ日より2年間。但し、下記部品については別途以下の年数を保証いたします。
熱交換器…3年間（漏水は5年間）、機器本体内の電装基板…5年間

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、弊社が無料修理致します。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡の上、修理に際して本書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、弊社窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
 - 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
 - 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流、異常電圧、異常電磁波、異常周波数、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
 - 水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
 - 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
 - 工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
 - 業務用（喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等）でご使用になった場合。
 - 機器に表示してある以外の使用電源（電圧・周波数）でご使用になった場合。
 - 温泉水、井戸水、地下水を給水したことにより生じた不具合。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

保証責任者 **株式会社ノーリツ** 神戸市中央区江戸町 93 番地

■お客さまへ

- この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービス」の項をご覧ください。
- この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

修理・点検・商品についての
お問い合わせは…

株式会社ノーリツ
コンタクトセンター

通話料金無料

0120-911-026

携帯電話からのお問い合わせは… 0570-064-910（通話料がかかります）

コンタクトセンターにおかけいただくと音声ガイダンスが流れますので、お問い合わせの内容によって番号をお選びください。

① 修理の受付・故障に関するお問い合わせ

■ 修理受付センター

365日24時間 修理受付
※修理訪問は日中、地域により休日有り
FAX 078-928-4831

② 有償点検・所有者情報に関するお問い合わせ

■ 点検センター

【受付時間】※土日祝日、夏期休暇、年末年始を除く
〈平日〉9:00～17:30

③ 商品に関するお問い合わせ・その他

■ お客さま相談センター

【受付時間】※年末年始を除く
〈平日〉9:00～18:00
〈土曜・日曜・祝日〉9:00～17:00
FAX 078-921-5656

お問い合わせについて

■PHS・IP電話等でつながらない場合は、一般電話・携帯電話からおかけ直してください。 ■お問い合わせの内容確認と正確な応対のため、録音させていただく場合がございます。
■正確な応対のため、発信電話番号通知をお願いしております。非通知設定をご利用の場合は、はじめに「186」をダイヤルし発信電話番号通知のご協力をお願いいたします。

個人情報の取り扱いについて

■ご連絡いただいた個人情報はお問い合わせ対応に必要な範囲で使用し、当社規定により厳格に管理します。なお、個人を特定できない情報に加工し、ノーリツグループのサービス向上や製品開発等に利用させていただきます。 ■ご連絡いただいた個人情報に誤りがある場合、当社からご連絡できない場合があります。 ■ご連絡いただいた個人情報は、以下の場合を除き、第三者に開示・提供致しません。(1)修理や各種ご案内・お問い合わせ対応のために当社関係会社や販売店等へ連絡する場合(2)機密保持契約を締結した外部業者に業務を委託する場合(3)法令等にもとづく場合 ■お客さまご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止等に関しては、弊社総務部 個人情報担当(TEL 078-391-3361 受付時間/平日9:00～17:00)にご連絡願います。